

令和5年度

高浜市地域包括支援センター
事業報告

令和6年7月31日

目次

I. 地域包括支援センターについて	1
II. 総合相談支援業務	1
(1)相談延件数／割合	1
(2)相談世帯数／割合	1
(3)相談者別延人数	1
(4)実態把握件数	1
(5)援助内容別件数	2
III. 権利擁護業務	3
(1)相談内容別延件数	3
(2)虐待通報実人数・虐待会議数	3
(3)虐待通報者数(上位のみ)	3
IV. 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務	4
(1)関係機関会議	4
(2)現任介護職員研修	4
(3)介護支援専門員研修	4
(4)地域包括支援センター内で必要時、個別ケースの情報の共有・検討を実施した	4
(5)地域ケア会議	4
(6)フレイル予防に着目した地域ケア個別会議	5
V. 介護予防ケアマネジメント	6
(1)介護予防・日常生活支援総合事業	6
(2)指定介護予防支援事業	6
(3)指定介護予防支援事業委託件数	7
VI. 在宅医療・介護連携推進事業	8
(1)高浜市在宅医療・介護連携推進協議会について	8
(2)医療・介護関係者の情報共有の支援について	8
(3)医療・介護関係者の研修	9
VII. 認知症総合支援事業	10
(1)普及啓発	10
(2)認知症の容態に応じた適時・適切な医療・介護	10
(3)介護者への支援	10
(4)認知症の方を含む高齢者にやさしい地域づくり	11
VIII. 生活支援体制整備事業	12
(1)地域ニーズと資源の状況の見える化、問題提起	12
(2)関係者のネットワーク化	12
(3)生活支援サービスの担い手の養成	12
IX. その他	13
(1)家庭介護者支援事業(市内事業所との共催で、介護者や一般市民に対する介護教室を開催)	13
(2)住宅改修	13
(3)認定調査	13
(4)まちづくり協議会への参加	13

令和5年度 高浜市地域包括支援センター事業報告

I. 地域包括支援センターについて

- 高浜市地域包括支援センターは、第8期高浜市介護保険事業計画に基づき、地域包括支援センター事業計画を立て、事業運営を行った
- 地域包括支援センターの3職種が業務の理念を理解した上で、常に情報を共有・協議し、支援を行うチームアプローチに努めている

II. 総合相談支援業務

(1)相談延件数／割合

年 度(高齢者数)		来 所		電 話		訪 問		その他		合 計
R5年度	9,568	2,379	62.0	1,026	26.7	291	7.6	144	3.7	3,840
R4年度	9,749	2,171	53.3	1,313	32.2	442	10.8	150	3.7	4,076
R3年度	9,475	1,949	47.4	1,619	39.4	409	9.9	136	3.3	4,113

*集計方法の変更により、令和4・3年度の件数は令和5年度の集計方法に合わせて変更しています

(2)相談世帯数／割合

年 度	家族同居		65 歳以上のみ		単 身		その他	
R5年度	1,761	45.9	1,049	27.3	854	22.2	176	4.6
R4年度	1,775	35.6	1,864	37.4	1,049	21.1	291	5.9
R3年度	1,881	37.2	927	18.4	1,909	37.8	333	6.6

(3)相談者別延人数

年 度	本 人	家 族	知 人	ケアマネジャー	民生委員	医療機関	その他
R5年度	580	1,881	57	700	27	180	452
R4年度	586	1,961	47	900	43	224	341
R3年度	855	1,961	81	928	55	311	754

(4)実態把握件数

	R5年度	R4年度	R3年度
実態把握	535	528	652

(5)援助内容別件数

年 度	申請手続・紹介	介護保険サービス	施 設
R5年度	2,790	1,798	786
R4年度	3,437	1,625	831
R3年度	3,001	1,479	639

年 度	認知症 相 談	精 神 心 理 相 談	保 健 医 療 相 談	介 護 方 法	経済的 相 談	住 宅 改 修	福 祉 用 具
R5年度	377	37	511	548	70	235	524
R4年度	302	42	520	443	54	165	406
R3年度	357	56	507	463	91	273	326

【総合相談支援事業】

(現状)

- 令和5年度は来所相談の増加や電話相談の減少に伴い、相談や介護保険申請受付等のための訪問が減少した
- 援助内容別件数は介護保険サービスに関する相談が増加し、施設に関する相談が減少している。また、介護方法、住宅改修、福祉用具に関する相談件数が前年度と比較し、増加している。後期高齢者の増加に伴い、在宅サービスに関する相談件数が増加していることが考えられる

(今後の方向性)

- 地域の高齢者が住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができるよう、地域における関係者とのネットワークを拡充し、高齢者の心身の状況や生活の実態、必要な支援等幅広く把握し、相談を受け、地域における適切な保健・医療・福祉サービス、支援機関又は制度に繋げるよう、支援を行っていく
- 関係機関と連携しながら切れ目のない包括的・継続的な支援が行われるようにフォローしていく

Ⅲ. 権利擁護業務

(1) 相談内容別延件数

年 度	虐 待	消費者被害	成年後見	措置入所
R5年度	111	1	6	0
R4年度	113	1	20	0
R3年度	262	0	14	0

(2) 虐待通報実人数・虐待会議数

年 度	実人数	うち継続数	開催回数
R5年度	14	3	17
R4年度	9	1	21
R3年度	9	3	70

(3) 虐待通報者数(上位のみ)

年 度	サービス機関	警察	親族	その他
R5年度	5	6	0	3
R4年度	3	5	1	0
R3年度	5	1	3	0

【権利擁護業務】

(現状)

- 虐待通報実人数は、昨年と比べ、増えている。通報機関の内訳としては、警察からの通報が増えている
- 高齢者虐待に関する研修を1日間開催した。各機関の通報から初動までの役割について、講義形式での研修を開催した
- 虐待防止検討委員会を設置し、高齢者虐待の防止のための指針や職員の相談・報告体制、再発防止策の検討体制を整備した
- 消費者被害防止に関する警察等からの「注意喚起」情報を「えん joy ネット高浜」に掲載した

(今後の方向性)

- 窓口等でチラシやパンフレットの掲示や配布を行い、高齢者虐待や消費者被害、成年後見制度に関する普及啓発を行う
- 専門職を対象に高齢者虐待の研修会を開催する
- 権利擁護支援センター、民生委員、介護保険事業所等各関係機関と連携をとりながら、成年後見制度の利用支援や消費生活相談窓口の紹介を行う

IV. 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

(1)関係機関会議

会議名	内 容	開催数
高齢者サービス調整会議	市内外の関連する全介護保険サービス事業所が参加し保険者・事業者間の連絡調整を行う	12 回
地域包括支援センター等運営協議会	学識経験者や医師、民生児童委員、介護サービス事業所等関係機関、市で運営に関することの協議を行う	3 回
民生児童委員協議会	毎月の定例会に参加。一番身近な情報をもとに、連絡調整を行う	12 回
特定高齢者等ケース検討会議	健康推進グループや社会福祉協議会等関係機関が集まり配食サービス利用や介護保険未利用者の処遇等に関する検討、連絡調整を行う	週 1 回
南部まち協見守り訪問報告会	毎月の報告会に参加。情報の共有と役割分担等問題解決に向けて協議する	11 回
ケアマネジャー情報交流会	市内居宅介護支援事業所と地域包括支援センターで情報共有を行う	3 回

(2)現任介護職員研修

開催日	内 容	参加者	参加者数
7月14日 (120分)	介護実践に必要な観察のポイント	介護保険サービス事業所	25

(3)介護支援専門員研修

開催日	内 容	参加者	参加者数
10月11日 (120分)	介護支援専門員のためのサービス担当者会議の開き方・進め方	居宅介護支援事業所	16
11月1日～11月30日 (オンデマンド)	認知症の方の理解～若年性認知症の方への支援のポイント	居宅介護支援事業所	19

(4)地域包括支援センター内で必要時、個別ケースの情報共有・検討を実施した

(5)地域ケア会議

地域包括支援センターに市内ケアマネジャーや関係機関から相談があった事例を基に地域ケア会議を開催した

1)参加者

地域包括支援センター(事業担当、地区担当)、居宅介護支援事業所(主任介護支援専門員、介護支援専門員)、市内訪問・通所介護事業所職員、権利擁護支援センター、生活支援コーディネーター、保険者 等

2) 開催日、内容等

開催日	内 容	参加者数
5月 9日	サービス導入が困難なため、自宅環境の整備・保清が困難な男性(60代)のケース	9
6月12日	共依存状態の要介護状態の父とアルコール依存症の子(40代)の支援方法を検討したケース	14
2月 9日	6月12日開催のケア会議のアルコール依存症の子(40代)が入院したため、退院後の生活について検討したケース	11

(6)フレイル予防に着目した地域ケア個別会議

自立支援・介護予防の観点に立ったアセスメント能力の向上やサービス等の提供に関する知識や技術の習得、多職種間の専門性に関する相互理解やチームアプローチの強化を目指し、事例検討を行った

内 容	参加者及び参加者数	開催数
地域包括支援センターや市内居宅介護支援事業所より、事業対象者、要支援1・2、および筋骨格系疾病により要介護状態に至ったが自立した日常生活が送れる方	薬剤師・理学療法士・管理栄養士・生活支援コーディネーター・社協・行政・保健師・看護師・ケアマネジャー 10名～12名/回	5

【包括的・継続的ケアマネジメント】

(成果)

- 地域の会議、民生児童委員協議会、内部の関係者との会議を通して継続的な顔の見える関係づくりを行った。また地区担当者が地域の関係者と継続した関わりを持つことで、地域の情報収集や相談など円滑に対応することができた
- 地域ケア会議では、複合化した多問題事例を検討することにより、多職種連携の必要性や役割の明確化、地域連携の重要性を再認識することができた
- フレイル予防に着目した地域ケア個別会議では、新たに薬剤師の参加によって薬の副作用や飲み合わせに着目した意見をいただき、幅広い視点で、自立を促す手立てをみつけることができた

(今後の方向性)

- 複雑化・複合化した課題のあるケースについて、各種関係機関と連携して支援する
- ケアマネジャーや介護職員への研修を実施するとともに、高齢者福祉に関する情報提供を行う
- 地域ケア個別会議や事例検討会を通し、専門的なスキルの向上や多職種間の連携、チームアプローチの強化を図る
- フレイル予防に着目した地域ケア個別会議では、継続的に市内居宅介護支援事業所からも事例提供をしてもらい、多方面から自立支援・重度化防止のための支援アプローチの強化を図る

V. 介護予防ケアマネジメント

(1) 介護予防・日常生活支援総合事業

介護予防・日常生活支援総合事業(以下、総合事業)とは、従来予防給付として提供されていた介護予防訪問介護及び介護予防通所介護のサービスが、市町村が地域の実情に応じて実施する事業へと移行したもので、高齢者が住み慣れた地域で自立した生活続けるために行う、介護予防・生活支援サービス事業と一般介護予防事業を通して、介護予防や生活の支援を行う

【介護予防ケアマネジメント】介護予防・日常生活支援総合事業

(成果)

- 初回相談やサービス未利用者の要介護認定更新申請の際に、健康自生地や宅老所等のインフォーマルサービスに関する情報提供を交えながら、総合事業の説明を行い、基本チェックリストによる簡易な判定も活用することで、サービスの早期調整を図った
- 本人や家族の状態変化に応じた相談対応により、適切なタイミングでの介護保険申請を支援した

(今後の方向性)

- インフォーマルサービスを積極的に取り入れたケアプランの作成を行う

(2) 指定介護予防支援事業

区 分		R5年度		R4年度	R3年度
		数	前年度比	数	数
介護予防給付	包括	1,411	113.2	1,247	1,378
	委託	1,421	97.3	1,460	1,201
総合事業	包括	701	99.9	702	868
	委託	566	88.2	642	509
合 計		4,099	101.2	4,051	3,956

(3)指定介護予防支援事業委託件数

市町村	委託事業所名	介護予防給付	総合事業
高浜市	高浜安立荘居宅介護支援事業所	83	50
	高浜市社会福祉協議会指定居宅介護支援事業所	105	59
	こもれび支援センター	291	167
	ケアプラン ひびき	477	166
	パートナーケア高浜	43	3
	クローバーケアプランセンター	291	88
碧南市	碧南市みどり居宅介護支援事業所	15	0
	ケアプランセンターひまわり	1	0
	居宅介護支援事業所 わっぱ	43	17
刈谷市	はじめやケアセンター	10	0
	オーネスト杜若指定居宅介護支援事業所	13	9
	シルバーピアかりや居宅介護支援事業所	5	0
安城市	えんがわ居宅	14	7
西尾市	居宅介護支援事業所レジデンス宮崎	3	0
大府市	ケアプラン あい	27	0
合 計		1,421	566

【介護予防ケアマネジメント】指定介護予防支援事業

(現状)

- 委託ケースについて、サービス担当者会議への出席や提出されたケアプランの確認、助言・指導を行った
- 介護予防給付と総合事業をあわせた指定介護予防支援事業全体の数は、前年度と比べ、48件増加している
- 介護予防給付における包括担当件数は、前年度と比べ、164件(1割ほど)増加している
- 総合事業における包括担当件数は前年度とほぼ変わらないものの、委託件数は前年度と比べ、76件減少しており、総合事業全体に占める委託件数の割合も減少している

(今後の方向性)

- 委託ケースについて、介護予防のための地域ケア個別会議等各種会議の活用により、ケアマネジメントの質の向上に向けた支援を行う
- ケアマネジメントの質の向上に向け、ケアマネジャーに対する助言等を行う

VI. 在宅医療・介護連携推進事業

(1)高浜市在宅医療・介護連携推進協議会について

高浜市在宅医療・介護連携推進協議会とは、地域における包括的かつ継続的な在宅医療・介護の連携についての検討を行うものであり、保健医療関係者や介護保険サービス事業者等により構成されている

開催日	内 容
3月13日	● 高浜市における在宅医療・介護連携推進事業について ● 高浜市在宅医療・介護連携推進事業 事例検討会について ● えん joy ネット高浜について ● ACP に関する取組みについて

(2)医療・介護関係者の情報共有の支援について

- ・ 平成30年1月よりえん joy ネット高浜の運用を開始し、慢性期～急性期～維持期・回復期～終末期における対象者の情報を切れ目なく、地域の医療・介護関係者間で共有し、どのような状態になったとしても安定した支援を提供できる環境づくりを行っている
- ・ 令和5年10月1日、愛知県内48市町村(愛知県内の電子@連絡帳サービス利用自治体全て)と同システムを活用した連携について協定を締結したため、市外の関係機関も「えん joy ネット高浜」に参加できるようになっている

えん joy ネット高浜 利用状況について(令和6年3月31日 現在)

『登録機関・登録者数』 *市外関係機関は含まず

区分	登録機関数(団体)			登録者数(人)		
	R5年度	R4年度	比較	R5年度	R4年度	比較
病院・診療所	10	10	-	17	16	1
歯科診療所	8	8	-	8	8	-
薬 局	8	8	-	9	10	▲1
介 護	35	29	6	110	100	10
そ の 他	21	5	16	53	27	26
合 計	82	60	22	197	161	36

『患者数・記事数』

患者数(人)			記事数(延べ件数)		
R5年度	R4年度	比較	R5年度	R4年度	比較
199	162	37	11,891	9,811	2,080

(3)医療・介護関係者の研修

●実施

項 目	開催日	内 容
医療・介護関係者の研修	4月8日	地域医療・介護・包括ケア連携勉強会 「在宅医療・介護者のためのコミュニケーション研修」
	11月11日	在宅医療介護連携研修会 「在宅療養中に頻出する褥瘡についての知識を深める」
地域住民への普及啓発	7月1日	がんばらない介護の講座 「心を軽くするコツを学ぼう」
	3月14日	人生会議セミナー 「『もしも』のときの医療・ケアについて」
その他	5月23日 7月25日 11月29日 1月23日 3月26日	事例検討会

●参加

- ・ 令和5年度地域包括ケア相談体制整備事業 情報収集型研修会
- ・ 在宅医療・介護連携推進事業ネットワーク会議
- ・ 都道府県・市町村担当者等研修会議
- ・ 在宅医療・介護連携推進事業担当者会議(管内市や医師会、豊田会と事業内容に関する検討)

(4)ACP に関する取組みについて

●市民に対する普及啓発

- ・ 市広報に ACP をテーマにした記事を掲載
- ・ 上記記事を基に、ポスターを作製した

●医療・介護関係者の実践力向上

- ・ 「もしバナゲーム」や「人生100年これからゲーム」の実施
- ・ ACP ポートフォリオの試行

【在宅医療・介護連携推進事業】

(成果)

- 医師や歯科医師、薬剤師等から、気になる患者の相談が直接地域包括支援センターに入っている
- 児童や障がい者サービス事業者等による、えん joy ネット高浜の活用が始まった

(今後の方向性)

- 関係者が積極的にえん joy ネット高浜を活用できるよう、周知や説明会を継続する
- 患者情報の共有だけでなく、各事業所間の情報共有に、えん joy ネット高浜の活用を図る
- 集合による研修や事例検討会を実施することで、支援者間のつながりを保つ機会をつくる
- 介護保険に限らず、他制度等について学ぶ機会をつくる

VII. 認知症総合支援事業

(1)普及啓発

	認知症サポーター 養成講座受講者数	認知症サポーター 養成講座開催数	キャラバン・メイト 連絡協議会開催回数
R5年度	905	16	1
R4年度	608	18	1
R3年度	680	19	0

	認知症サポーター ステップアップ講座受講者数	認知症サポーター ステップアップ講座開催数
R5年度	9	1

(2)認知症の容態に応じた適時・適切な医療・介護

	認知症初期集中支援チーム員 会議検討件数	刈谷医師会 認知症ネットワーク 会議参加回数	刈谷医師会 認知症委員会 会議参加回数
R5年度	35		4
R4年度	25	3	1
R3年度	27	3	

(3)介護者への支援

認知症高齢者を介護する家族会

	参加者数	開催回数
R5年度	73	10
R4年度	69	10
R3年度	42	5

認知症カフェ活動状況

	昭和で元気になるカフェ	
	参加者数	開催回数
R5年度	260	10
R4年度	232	8
R3年度	169	5

(4) 認知症の方を含む高齢者にやさしい地域づくり

	R5年度	R4年度	R3年度
SOS ネットワーク事前登録者数	75	67	58
SOS ネットワークサポーター登録者数	365	340	318
SOS メール配信数	4(市外1含む)	1	4
チームオレンジ ※	1		

※ チームオレンジとは、認知症サポーター養成講座を受講後、さらにステップアップ研修を受講したメンバーがチームを組み、認知症の人や家族に対する生活面の支援等を行う取り組みのこと

【認知症総合支援事業】

(成果)

- 認知症月間を中心とした広報での普及啓発、高浜市やきものの里かわら美術館・図書館と協働での認知症特集コーナーの設置、いきいき広場のトイレでのポスター掲示を行った。また、市ホームページを更新し、認知症の相談窓口や制度についての普及啓発を行った。わくわくフェスティバルでは、認知症事業の紹介のチラシを900枚配布した
- 認知症初期集中支援チームでは、在宅生活を送っており、認知症の診断や治療を受けていなかったり、医療サービスや介護サービス等を利用していなかったりする認知症の方とその家族に対して、早期の段階から、訪問等による相談支援を行った
- 認知症高齢者を介護する家族会の方に対し、認知症フォローアップ研修を実施し、チームオレンジを立ち上げた

(今後の方向性)

- 引き続き、広報やホームページ、図書館と協働しての普及啓発コーナーの設置など、幅広い世代に向けて、認知症の普及啓発を行う
- 認知症の方の視点を重視し、認知症サポーターや認知症カフェの関係者と連携しながら、認知症の方とその家族の困りごとを早期発見し支援していくための体制を構築する
- 認知症本人の希望をかなえるヘルプカードの普及啓発をし、本人の思いを伝えられるツールの紹介をしていく。窓口相談等で本人ガイドを配布し、不安を軽減できるように支援を図る

VIII. 生活支援体制整備事業

(1) 地域ニーズと資源の状況の見える化、問題提起

内 容	回数
地域ケア会議・サービス調整会議出席	15
民生児童委員協議会出席	11
地域・社会資源への訪問	33

(2) 関係者のネットワーク化

内 容	回数
南部まちづくり協議会の見守り定例会出席	11
吉浜まちづくり協議会高齢者生きがいグループ会議出席	11
協議体出席	105

(3) 生活支援サービスの担い手の養成

内 容	回数	参加者数
支え合い・お手伝いサポーター養成講座	1	5
傾聴ボランティア養成講座(ボランティアセンターと協働)	1	38

【生活支援体制整備事業】

(成果)

- 高浜南部まちづくり協議会が行っている見守り支援や吉浜まちづくり協議会の高齢者生きがいグループの定例会に出席し、連携しながら地域の困りごとの解決に取り組んだ
- 生活支援サービスの担い手の養成講座を開催し、昨年度の7名に引き続き5名を新たに養成した
- ボランティアセンターと協働し傾聴ボランティア養成講座を実施。傾聴ボランティア団体「高浜うさぎ」が新規に立ち上がった
- インフォーマルサービスの周知の一環として、「住まい」に関するガイドブックを作成した

(今後の方向性)

- 生活支援コーディネーターや協議体と連携しながら、高齢者のニーズに応じた地域資源の開発に取り組む
- 地縁組織や地域の支援者間のネットワーク構築と強化に取り組み、インフォーマルサービスの周知を図る
- 傾聴ボランティア団体「高浜うさぎ」が少しずつ活動の場を広げ、継続的に活動できるよう支援していく
- 「住まい」のガイドブックは支援者に活用していただけるよう周知・配布する。令和5年度作成の「食」のガイドブックは社会福祉協議会ホームページに掲載、配布する

IX. その他

(1)家庭介護者支援事業(市内事業所との共催で、介護者や一般市民に対する介護教室を開催)

年 度	内 容	参加者数
R5年度	・ 認知症の基本的理解と予防方法、かかり方についての講演「どうする認知症～みんなで知ろまい介護の知恵袋～」・災害・脱水予防・おむつの当て方・認知症に関するミニコーナーを実施	54

(2)住宅改修

65歳以上の高齢者や要支援・要介護認定者の住宅を改修するにあたり、現場確認・助言を行った。
また、住宅改修の理由書を作成し、改修後の評価を行っている

改修内容としては、手すりの取り付けが最も多く、次いで段差解消、床材の変更となっている

年 度	訪問件数
R5年度	50
R4年度	74
R3年度	67

(3)認定調査

新規申請調査等に適宜同行し、実態把握に努めるとともに適切なサービス利用につなげている

(4)まちづくり協議会への参加

まちづくり協議会への参加は、地域とのネットワークを形成するための大切な機会となっている。
地域課題の解決に向けて話し合い、協働によるまちづくりを推進している。地域包括支援センター職員と地域住民との顔が見える関係づくりに努めている

まちづくり協議会	R5年度	R4年度	R3年度
高浜南部まちづくり協議会	5	5	12
吉浜まちづくり協議会	8	8	3
翼まちづくり協議会	1	3	3
高取まちづくり協議会	4	1	2
高浜まちづくり協議会	3	5	8